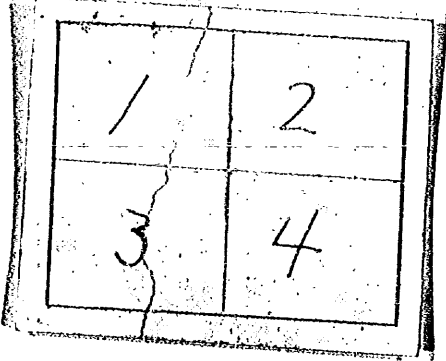


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1923  
1924  
1925  
1926

第三軍第一二八師團部隊名 歩兵第二一八五聯隊

通稱號 英武一五二八四

郵便所名

全般概要					轉入	轉出	員人編制	隊別		隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	隊別計	滿洲残留	收			
二〇、五、七 綾子帯にて編成完結 二〇、六、三〇、八、八 瀧子帯にて陣地構築 八、九 陣地守備 八、一一 瀧子帯飛石攻撃 八、一四 瀧皮御子陣地守備一部關係 兼攻瀧天橋橋附近警備 八、二〇、二四 奉勅大石運武備後東京城へ歸結 八、二四 大森大隊編成 九、六 牡丹江經由 九、一一 統率河經由 九、一五 へハロフスクへ、一部は武 裝解除後金窟に收容所、延 吉收容所を経てヒロビシヤ ン方面へ					十九年以降	十九年以降	3410	聯隊本部	第一大隊本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	大佐 阿久刀川 赴夫 (内は先代を示す)	瀧子羅	瀧子羅						

隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	別隊
			大尉 内山吉三郎		隊長名 (内は先代を示す) 大佐阿久刀川赴夫
					戦時 人員
					駐屯地 平 時
				満子羅	戦時 時
				満子羅	戦時 時
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入「ソ」迄の變動
					隊別 計
					入「ソ」人員
					満洲 残留
					收容所名
					收容所
					人員 死亡
					満洲 より 戻 り 計
					人員 計
					者 数
					状況不明

隊名 歩兵第二一八五聯隊

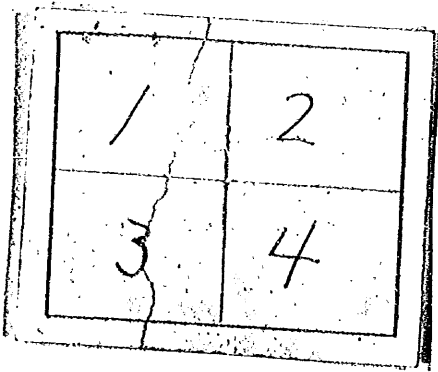
通稱號 英武一五二八四

郵便所名





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1027  
1028  
1029  
1030

所属  
第三軍第一二八師團部隊名  
步兵第二一八五聯隊  
通稱號  
英武一五二八四  
郵便所名

全般概要

轉入

轉出

員人編

別隊

隊長名  
(内は先代を示す)

開人

駐屯地

時  
平時  
戰時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソ迄の變動

入ソ人員  
隊別計

滿洲殘留

收容所

隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊小砲兵歩一第
		大尉 伊藤 篤美	
		満子坂	
		満子羅	
		八、九、砲斗靈隊陣地強化 八、二、砲機甲部隊の強襲を受け交戦す 八、一三、一四、師團命令に依り陣地撤退 棉皮天子に移動附近で敵機甲大隊と激戦 後交戦相手の損害を生ず 八、一五停戦後	
		作業大隊以外の游撃は延吉收容所に移動	
		九、三、金谷收容所へ 作業大隊編成 九、下加入ソ 二、一、將校は延吉出發ス 一、收容所へ移動	

隊名 步兵第二一八五聯隊  
通稱號 英武一五二八四

郵便所名

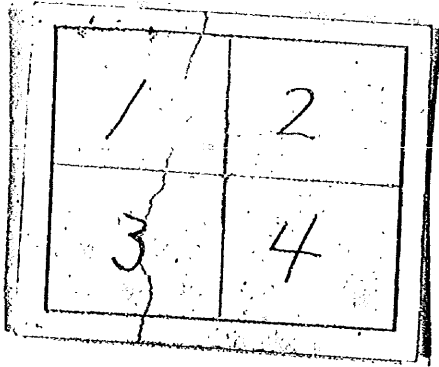
隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊小砲兵歩一第	人員編制	別隊
		大尉 伊藤 篤美		隊長名 (内は先代を示す)	
		溝子城		戦時	駐屯地
		溝子羅		平時	駐屯地
		八、九、戦時要務地帯強化 八、二、敵機甲部隊の襲撃を受け交戦す 八、一三、一四、師団命令に依り陣地撤退 津皮天子に移動附近で敵機甲大部隊と激戦 激戦共相當の損害を生ず 八、一五停戦戦線		戦闘間の状況及損耗	
		作業大隊以外の將校は延吉收容所に移動		終戦後の人員變動	
		九、三、金谷收容所へ 作業大隊編成 九、下知入「ソ」 二、一、將校は延吉出發ス 「ソ」收容所へ移動		作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
				隊別	入「ソ」人員
				計	満洲残留
				收容所名	收容所
				所人	所人
				死亡	死亡
				満洲より	歸還人員
				領	領
				計	計
				者	狀況不明
				数	数



隊 中 六 第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	部 本 隊 大 二 第	隊 小 砲 兵 歩 一 第
			大尉 伊藤 爲美	
			濤子城	
			濤子羅	
			八、九、砲身運搬地敷化 八、二、砲機手部隊の砲座を受け交替す 八、三、四、師團命令に依り陣地敷定 砲皮天守に移搬附近で砲機甲大隊隊と砲機 彼我共相當の損害を生ず 八、一五、砲機撤去	
			作業大隊以外の諸隊は延吉收容所へ移動	
			六、三、金谷收容所へ 作業大隊編成 九、下加入「ソ」 二、一、將校は延吉出發シ 一、七、收容所へ移動	



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

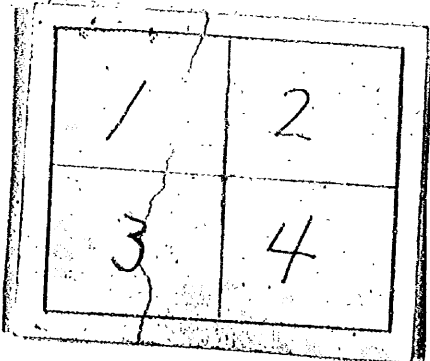








# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



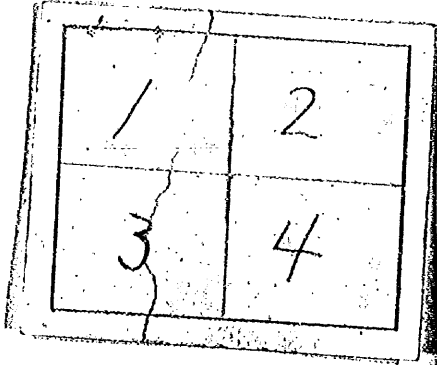








# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



第 一 二 八 師 團 進 進 大 隊 通 稱 號 英 武 一 五 二 九 一

郵便所名

隊 中 三 第		隊 中 二 第		隊 中 一 第		部 本 隊 大		員 入 編 編
少 尉 石 井 修 一 郎		少 尉 鬼 頭 鐵 男		少 尉 間 宮 茂 同 濱 里 傳 同 田 家 明 同 馬 渡 登 志 夫 同 橋 本 廣 次 同 渡 邊 浩 次		大 尉 西 尾 元 大 尉 (山 下 俊 男) 副 官 磯 崎 菊 雄		隊 長 名 ( ) 内 は 先 代 を 示 す
								開 人 駐 屯 地 時 間 平 時 時 間 戦 時 時 間
二〇、八、九 老黒山一黒雲陣地構築 二〇、八、一五 羅子嶺附近にて停戦 二〇、八、二七 本部と合流		戦平は小隊毎に分れて行ふ 二〇、九、九 第三小隊十六名は天橋嶺にて武解		一ヶ小隊を本部差出 九、一〇 右頭にて武解(約二五〇名)		東雲嶺の指揮下に入り 二〇、八、二〇 東京城にて武解		戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
								終 戦 後 の 人 員 變 動
								作 業 大 隊 以 前 入「ソ」迄の變動
								隊 別 計 入「ソ」人 員
								滿 洲 殘 留
								收 容 所 名 * 一 号 第 一 收 容 所
								所 入 死 亡
								滿 洲 以 前 歸 還 人 員 計
								状 況 不 明 者 數

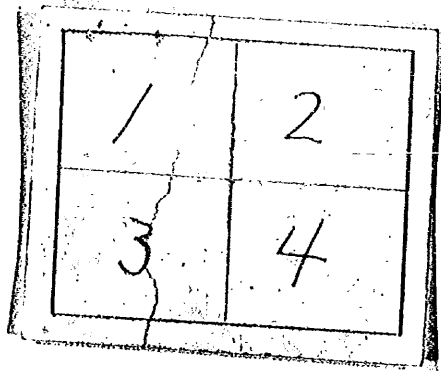
<p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、二〇 金谷にて入</p>			<p>二〇、八、二四 天橋坂にて師團と合流</p> <p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、二〇 金谷にて入</p>	<p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、二〇 金谷にて入</p>
<p>第六隊 少尉 岡宮 茂</p> <p>同 渡邊 浩次</p> <p>同 橋本 廣次</p> <p>同 馬渡 登志夫</p> <p>同 田家 明</p> <p>同 渡邊 浩次</p>	<p>第三隊 少尉 石井修一郎</p>	<p>第二隊 少尉 鬼頭 鐵男</p>		<p>第六隊 少尉 岡宮 茂</p> <p>同 渡邊 浩次</p> <p>同 橋本 廣次</p> <p>同 馬渡 登志夫</p> <p>同 田家 明</p> <p>同 渡邊 浩次</p>
<p>二〇、八、二〇 金谷にて入</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p>		<p>二〇、八、二四 天橋坂にて師團と合流</p> <p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、二〇 金谷にて入</p>	<p>二〇、八、二四 天橋坂にて師團と合流</p> <p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、二〇 金谷にて入</p>	<p>二〇、八、二八 東京城にて武装解除</p> <p>二〇、九、一〇 同地にて作業二六四大隊編成 成入野四尾元 一連二〇、九、五、天橋坂にて機銃隊</p> <p>二〇、九、二三 金谷にて作業五八六隊編成</p> <p>二〇、九、二〇 金谷にて入</p>



大 塚 本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊
大塚 (1,2,3,4,5,6) 磯崎 芳雄	少尉 関宮 茂 同 濱里 博 同 田家 明 同 馬渡登志夫 同 橋本 廣次 同 渡邊 浩次	少尉 鬼頭 鐵男	少尉 石井修一郎
二〇、八、九 老恩山一帯管轄地構築 二〇、八、一五 羅子嶺附近にて停戦 二〇、八、二七 本部と合流	一ツ小隊を本部に送田 九、一〇、一五 百頭を於て(野原)に二五〇余	戦力は小隊毎に分れて行進 二〇、五、九 第三小隊十六名は天橋嶺にて武断	

# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

1043  
1044  
1045  
1046

場所

第三軍第一二八師團隊名 第一二八師團制毒隊

通稱號

郵便所名

全殺概要	
轉入	轉出
十九年以降	十九年以降
員人編組	
別隊	
隊長名 (内は先代を示す)	
戦時	戦間
駐屯地	戦時
戦闘間の状況及損耗	
終戦後の人員變動	
作業大隊より 入ソ返の變動	
隊別	入ソ人員
計	
満洲残留	
收容	收容

隊名 第一二八師團制毒隊

通稱號

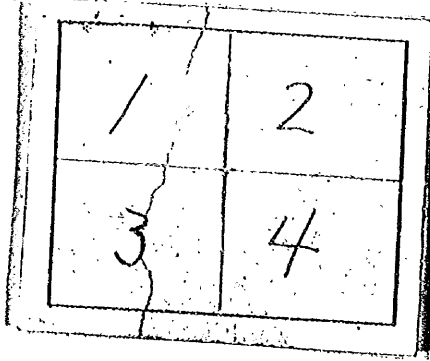
郵便所名

員人編組		別 隊		
(内は先代を示す)		隊長名		
時員	戦	開人		
平	時	駐屯地		
戦	時	地		
戦闘間の状況及損耗				
終戦後の人員變動				
作業大隊より入ソソ運の變動				
隊別	計	入ソソ人員		
満洲残留				
收容所名	收容所	所		
員所入	死亡	所		
より満洲	よりソソ	領		
計	計	人員		
者	数	状況不明		





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	





1923					員人制編
二第	隊中一第	列段一第	部本隊大一第	部本隊聯	別隊
					隊長名 (内は先代を示す) 少佐 勝又 文雄 (戦死)
					戦開人 戦員
				山黒老	駐屯地 平時
				溝子羅	戦時
				勝又少佐玉碎	戦闘間の状況及損耗
				老黒山に遊撃隊など全滅せる模様	終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソ迄の變動
					入ソ人員 隊別計
					満洲残留
					收容所名
					收容所
					死亡
					満洲より 歸還人員 計
					状況不明 者数

部隊名 野砲第一二八聯隊  
通稱號 英武一五二三四五〇  
郵便所名

第三十三大隊本部は六隊連  
 三六中隊(中隊)を各々  
 五隊連に編入

八、一三、一三  
 ○○隊本部

八、一三、一五  
 ○○隊本部は六隊本部  
 隊本部に編入され、三六隊の  
 名を以て六隊本部と改称す  
 隊本部は編入又は行方不  
 明な六隊本部各六隊本部  
 部隊の編入とす

八、一五  
 大塚原國民学校にて武備  
 東京城に移動  
 被河に移動

八、三〇  
 被河にて作業二六三大隊  
 或長少佐須田三

九、一一  
 被河田

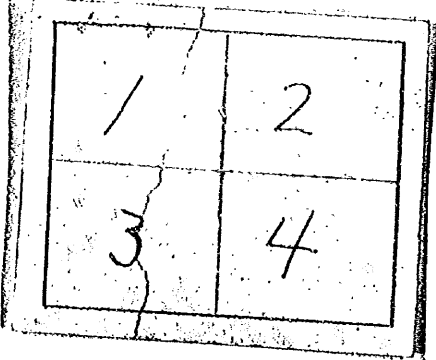
九、一九  
 ニムンモリスク第四收容所  
 (第六收容所)

1923

隊本部	第一大隊本部	第一隊列	第一中隊	第二中隊	第三中隊
少佐 一三三 (支隊)					
六隊連					
第三連					
一三三 被河田に編入され、 隊本部に編入					



# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1051  
1052  
1053  
1054

第三軍第一二八師團部隊名野砲第一二八聯隊

通稱號 英滿 武一五二三四五〇

郵便所名

全般概要  
 轉入  
 轉出  
 員入調編  
 別除  
 隊長名  
 駐屯地  
 戦闘間の状況及損耗  
 終戦後の入員變動  
 入員  
 満洲残留  
 収

第二大隊の状況  
 大城麻野近の陣地構築實施  
 中隊隊員に對し、砲兵一連隊  
 半隊を  
 八、一九 師團司令部にて大  
 城麻野  
 八、二五 天橋嶺  
 八、二九 東京城にて食糧  
 八、三〇 河地にて作業二  
 六三大隊編成  
 九、一一 波河經由  
 九、一九 コムソモリスク

少佐 須田 藏三  
 ( )内は先代を示す  
 戰 闘 間  
 駐 屯 地  
 戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗  
 終 戦 後 の 入 員 變 動  
 八、三〇 東京城にて作業  
 二六三大隊編成  
 長少佐 須田 藏三  
 波河經由コムソモリスク

第二大隊本部  
 中尉 客 賢  
 400  
 大城麻野  
 八、一九 ソ軍機銃隊來戦斗配備  
 八、二三 羅子溝及「ム」に侵入  
 東本隊の後退し集結し東本隊團長の指揮  
 に入る羅子溝とは連絡絶つ  
 一五日拂曉迄に牛心屯に移動陣地配備戰  
 車及装甲車の攻撃を受け交戦七台破壊棄  
 下  
 二〇日河地出發二九日東京城にて武解

第四中隊  
 佐藤  
 戦 闘 間  
 駐 屯 地  
 戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗  
 終 戦 後 の 入 員 變 動  
 八、三〇 東京城にて作業  
 野砲第一二八聯隊第二大隊  
 佐木新獨立工兵隊其の位歩  
 兵部隊の一部  
 九、三 東本隊出發  
 九、一九 コムソモリスク  
 右行動間一名死亡  
 逃亡鮮米四名

第五中隊  
 戦 闘 間  
 駐 屯 地  
 戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗  
 終 戦 後 の 入 員 變 動  
 八、三〇 東京城にて作業  
 コムソモリスク  
 第一收容所第四  
 分所

隊名 野砲第一二八聯隊

通稱 英武一五二八四五〇

郵便所名

隊中五第	隊中四第	列段二第	部本隊大二第	別隊	隊長名 (内は先代を不) 少佐 須田 藏三	隊員 時員 平時 戦時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の入員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別計	滿洲残留	收容所名	收容所 所入 死亡	歸還人員 計	状況不明者数
佐藤	中尉 峯 賢							大威威	八、九 ソ軍機銃砲隊戦闘配備一 八、一三 羅子藩及「ムーリン」に敵侵入 東部旅団の後退し集結し東部旅團長の指揮 に入る羅子藩とは連絡を絶つ 一五日拂曉迄に牛心屯に移動陣地配備攻撃 車及装甲車の攻撃を受け交戦七台被擧撃 す 二〇日河地出發二九日東京城にて復隊	八、三〇 東京城にて作業 二六三大隊編成 長少佐 須田 藏三 被擧撃由コムソリスク	八、三〇 東京城にて作大 編成 野砲一二八聯隊第二大隊 佐木新獨立工兵隊其の他歩 兵部隊の一部 九、一三 東京城出發 九、一九 コムソリスク 右行動間一名死亡 逃亡鮮米田名	コムソリスク 第一收容所第四 分所				

大正十一年四月二十二日

八、一九 日清戦争

八、二五 天竺戦争

八、二九 東京城にて大

八、三〇 同地にて作樂二

六三大隊編成

九、一 横河橋占

九、一九 コムンモリスク

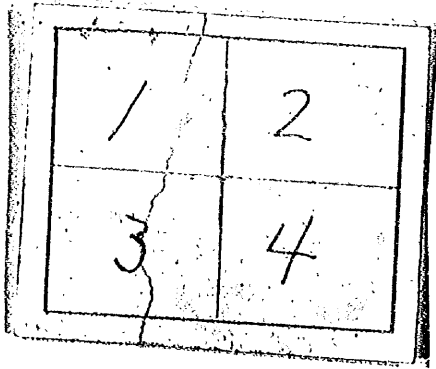
第 二 大 隊 本 部	第 二 段 列	第 四 中 隊	第 五 中 隊	第 六 中 隊
		中尉 峯 賢	佐藤	宇口
		400		
		大 隊 長		
		八、九 ソ軍機銃隊を隊中配備 八、一三 羅子澤及ムーリソンに隊侵入 東京城の夜退し集結し東京城圍長の指揮 に入る羅子澤とは連絡絶つ 一五日城陥落に牛心屯に移動陣地配備隊 軍及裝甲車の攻撃を受け交戦七台破壊 二〇日同地出發二九日東京城にて武解		
		八、三〇 東京城にて作大 編成、一八聯隊第二大隊 佐大新獨立兵隊其の他歩 兵部隊の一部 九、三 東京城田邊 九、一九 コムンモリスク 着 右行動間一名死亡 送亡鮮兵四名		

大正十一年四月二十二日

隊 中 六 第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	列 段 二 第	部 本 隊 六 二 第
宇口	佐藤	中尉 峯巖 賢		
		400		
		威成大		
		<p>八、九 ノ軍機総攻撃突撃斗胆第一        八、一三 種子溝及「ムーリン」に敵侵入        東京方面の後退し、築地、東横、品川の指揮        に入る種子溝とは連絡絶つ        一五日拂野迄に午心屯に移動陣地配備攻撃        車及装甲車の攻撃を受け交戦七台破壊棄退        二〇日河津山登二九日東京城にて武解</p>		
		<p>八、三〇 東京城にて作大        編成、野砲一、二八輜糧隊二大隊        佐木新獨立工兵隊其の他歩        兵部隊の一部        九、三 東京城田渡        九、一 九 コムソモリスク        右行動間一名死亡        逃亡鮮米四名</p>		<p>二六日水島        一、二八 築地        築地、品川、河津山</p>
			<p>コムソモリスク        第一收容所第四        分所</p>	



# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1055  
1056  
1057  
1058

第三軍第一二八師團部隊名野砲第一二八聯隊

通稱號

郵便所名

全般概要				轉入		轉出		員入制編	
<small>第三大隊の状況、少兵衛隊配属とナリ最左翼陣地守備に在リ、第三陣地に轉進後方田〇村迄點に砲列設置陣地占領、戦果戦車五、トラック三、機、八、二五 羅子藩にて突撃</small>				十九年以降		十九年以降			
隊中八第		隊中七第		列段三第		部本隊大三第		別隊	
		中尉 金澤 七郎						隊長名 (内は先代を不示) 大尉 岩谷	
								開入 戦時 平時	
		溝子經						駐屯地 戦時 平時	
		羅子藩東南二〇軒地区に於て中隊長以下約一五〇戦死						戰鬥間の状況及損耗 <small>少兵衛隊に配属第二陣地に配属を命ぜられ陣地占領、八、二五 羅子藩にて突撃</small>	
								終戦後の人員變動	
								作業大隊より入ソ迄の變動	
								隊別 計	
								入ソ人員 滿洲殘留	
								收容	

隊名 野砲第一二八聯隊

通稱 砲

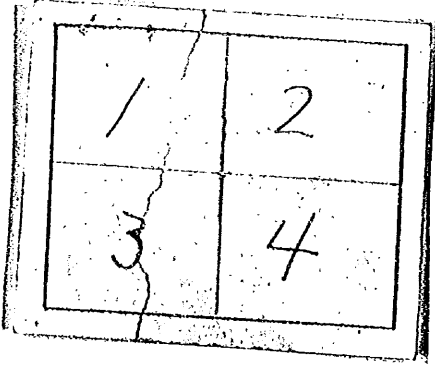
郵便所名

隊中八第	隊中七第	列段三第	部本隊大三第	別隊	編制人員
	中尉 金澤 七郎			隊長名 (内は先代を不示す) 大尉 岩谷	
				戦入 時員	
				駐屯地	
	溝子郷			戦時	
	溝子郷東面二〇軒地区に於て中隊を以て約一五〇戦死			戦闘間の状況及損耗 歩兵聯隊に配属第二陣地に配属を命ぜられ陣地占領 八、二五 溝子郷にて戦死	
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より入ソの變動	
				入ソ人員	
				隊別計	
				滿洲殘留	
				收容所名	
				收容所	
				死亡	
				滿洲より領計	
				歸還人員	
				者數	
				狀況不明	



隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	列 段 三 第	部 本 隊 六 三 第
中島		中尉 金澤 七郎		
		溝子羅		
六、二、陣地構築のため(金子溝) 八、二五、終戦直前(金子溝)		金子溝(東部)二〇軒地区に於て中隊長以下約 一五〇戦死		八、二五、終戦直前(金子溝)
九、一九、(金子溝) 九、二八、(金子溝) 一〇、二〇、(金子溝) 攻落所				

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1059  
1060

1061  
1062

第二軍第一二八師團部隊名第一二八師團工兵隊

通稱號

郵便所名

全般概要		八、一〇、八、二四 陸軍と聯軍との間一ヶ月前 内攻の遂行して玉砕		八、一三 羅子溝にて編成(四〇〇名)		八、二〇 羅子溝にて完成		八、二一 金峯に收容作四六に編入 ウラチヤ地区に收容後 武庫後進道敷設工事	
轉入	轉出	19年以降		19年以降		288		員人制編	
別	隊	隊長名 ( )内は先代を不示す		時員		戰闘人		駐屯地	
本中	部	少佐 白濱 義雄 中 柳田 宗藏 中 尾野 隆	中	中	中	中	中	中	中
隊	隊	大尉 河野	中	中	中	中	中	中	中
隊	隊	中尉 鈴木 俊夫	中	中	中	中	中	中	中
隊	隊	中尉 谷川 義教	中	中	中	中	中	中	中
隊	隊	中尉 大里 重	中	中	中	中	中	中	中
戰鬥間の状況及損耗		羅子溝の陣地構築完了後、八、二一、我軍は分三本隊を合流して、陣地を固めて攻撃の行を待てる。							
終戦後の人員變動		作業大隊より入「ソ」迄の變動							
入「ソ」人員		作業大隊に編入							
隊別		金峯を收容した部隊編成、羅子溝を由入「ソ」							
計		滿洲残留							

隊名 第一二八師團工兵隊

通稱號

郵便所名

別隊	隊長名	開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員計	満洲残留	收容所名	收容所	歸還人員計	状況不明者数
本中	少佐 白濱 義雄 中尉 柳田 義藏	12	満子羅			作業大隊より入「ソ」迄の變動 作次四大隊に編入						
部隊	大尉 河野	330										
隊中	大尉 鈴木 俊夫	65(45隊15隊4)										
隊小	大尉 谷川 義教	65(45隊15隊4)										
隊小	大尉 大里 勇	65										
<p>羅子羅の陣地構築等、羅子羅に 残る隊員等は、本隊を合流して、 掃蕩完了後、解散した。云々</p> <p>全隊を休養中の隊員 が、羅子羅に加入した。</p> <p>北満洲に收容所</p>												





本	師	隊 中	隊 一	隊 二	隊 四
善美尾町		大府河野	長不候	長不候	大里

6.5      65(4574)      65(4574)      4300      6.5

終子

終子

羅子清の陣地跡を、龍谷八十八  
 夜半(約三時)に本陣に合流し、八  
 幡大陣の攻撃に耐えつた。

合戦後、休む暇もなく陣地を  
 攻め寄せ、入った。

北沼津、四谷、今新